

2021年10月14日

各位

渡辺パイル織物株式会社の「SDG s 宣言」策定を支援しました！

～SDG sの達成に向けて取り組んでいるお客さまをサポート～

株式会社伊予銀行(頭取 三好 賢治)は、SDG sの達成に取り組んでいるお客さまを支援するため、「いよぎんSDG s 診断サービス」をご提供しております。今般、渡辺パイル織物株式会社様(愛媛県今治市、代表取締役社長 渡邊 千歳様)が『SDG s 宣言』を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDG sへの取組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出に繋がることから、多くの企業がSDG sへの取組みを推進しています。

このサービスは、チェックシートに回答することで、企業のSDG sへの取組み状況を客観的に診断し、当行がお客さま独自の『SDG s 宣言』の策定をサポートする法人さま向けのサービスです。

当行は、地域金融機関として、潤いと活力ある地域社会の実現に貢献するため、お客さまのSDG sへの取組みを支援してまいります。

記

○企業概要

項目	内容
企業名	渡辺パイル織物株式会社
所在地	愛媛県今治市南宝来町2丁目8番地1
業種	タオル製造業
設立	1965年4月

※SDG s宣言については、別紙をご参照ください。

以上



【本件に関するお問い合わせ】 伊予銀行法人コンサルティング部 (担当: 前田) TEL (089) 907-1062

渡辺パイル織物株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行います。

2021年10月14日
渡辺パイル織物株式会社
代表取締役 渡邊 千歳

SDGsの達成に向けた取組み

今日の1日を幸せにするタオルを作りたい

渡辺パイルのタオルづくりはお客様の暮らしを想像するところから始まります。
長く使い続けて気持ちの良いタオルを作るため、原料となる綿・糸・デザイン・
織・加工・検品など関わる全ての専門家と連携して研究開発を続けます。

【具体的な取組み】

- ・産地内の加工場及び各専門家との連携による技術開発
- ・生産管理、品質管理体制の構築 ・自社ブランド化「WATANABE PILE」



美しい自然を未来に繋ぐ

必要数量に合わせた生産計画や、オーガニックコットンの採用、環境に配慮した
加工法の選択などに取り組むとともに、残糸や残反を活用した新商品の開発に
取り組んでいます。美しい自然を未来に残すため、環境にも人にも優しい
ものづくりに努めます。

【具体的な取組み】

- ・生産数量の徹底した管理 ・長く心地よく使える品質の追求
- ・トレーサビリティの確保 ・オーガニックコットンの採用
- ・グローバルリサイクルコットン標準の採用 ・LED照明の導入
- ・TZ酸性酵素法によるCO₂排出量削減 ・残糸、残反、廃材の活用



笑顔になれる職場

多様なライフスタイルに柔軟に対応し、一人一人の社員が生きいきと働ける職場を
目指します。女性の採用を積極的に行い、活躍の場を作ります。
また、若手社員へ向けた伝統技術の承継を積極的に行います。

【具体的な取組み】

- ・同一労働同一賃金の体制整備 ・過重労働や長時間労働の防止 ・伝統技術の承継
- ・女性の活躍推進に向けた取組み ・会社負担による資格取得支援



地域とともに寄り添うこと

未来の日本を担う子供達に向けて、工場見学や講演などを行っています。
そのほか、地域の住民、スポーツチーム、企業の方々が笑顔になれるような
機会を積極的に設けます。

【具体的な取組み】

- ・地元人材の積極的な採用 ・地元小学生の工場見学受入れ
- ・地元幼稚園での講演 ・地元サッカーチームへの協賛
- ・地元企業とのイベント開催 ・地元住民に向けた現代劇の開催



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。